

石阪丈一 6つの基本目標と主な政策

- ～ローカルマニフェスト～
- 子育て支援NO.1のまち**
 - 町田に児童相談所を設置
 - 保育所待機児童ゼロを目指す
 - 中学校全員給食を実施**
 - 市内3か所(木曾山崎、金井、成瀬)に給食センターを設置
 - 温かい給食を2024、25年度に全校で開始します
 - 民間連携によって、地域のニーズに応える、多機能型の給食センターを実現します
 - 多摩都市モノレール延伸事業を加速します**
 - モノレール導入ルート幹線道路の都市計画決定、事業認可取得
 - モノレール沿線新駅周辺のまちづくり計画策定
 - 高齢者、障がい者、多様な人々を地域みんなで支える**
 - 特別養護老人ホームの「入所待ち期間、1年以内」100%実現
 - パートナーシップ制度の導入
 - 持続可能な環境と安全安心なまち**
 - CO2削減、脱炭素社会へ2030年達成目標を設定
 - 東日本初の家庭のみバイオガス発電電力を公共施設に供給
 - 下水道雨水幹線の耐震化
 - スポーツと文化芸術活動のまち**
 - 忠生スポーツ公園、鞍掛スポーツ広場の整備
 - 文化芸術ホール整備構想の策定
 - 国際工芸美術館整備および芹が谷公園の再整備

1947年 町田市野津田町生まれ鶴川小、中学校、都立立川高校、横浜国大卒業
 1971年 横浜市入庁(総務局人事課)
 1991年 横浜市企画財政局課長(横浜市総合計画策定)
 1996年 (株)横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)出向
 2002年 横浜市総務局緊急改革推進本部理事(局長級)
 2004年 横浜市港北区長(2005年9月退任)
 2006年 町田市市長(一期目)
 2010年 町田市市長(二期目)
 2014年 町田市市長(三期目)
 2018年 町田市市長(四期目)



趣味 バードウォッチング(日本野鳥の会会員 同神奈川県支部監事) 生け花(小原流) 木版画 ジョギング スポーツ観戦

信条 「生きていると思うな、生かされていると思え」

尊敬する人物 坂本龍馬、石阪昌孝(野津田生まれ明治期の衆議院議員)

家族 妻、一女二男、町田市広袴町在住

今、町田市は全国有数の「子育て世代から選ばれるまち」になっています。子育て、子育てのための政策を、一貫して進めてきたひとつの成果が、若い子育て世代の転入超過となつて表れています。町田市は数多くの特別養護老人ホームを町田市内に整備してきました。要介護3以上の方の9割の方が、1年以内に入所できるようにしました。

市役所の職員は以前よりずっと誇りと自信を持って仕事ができるようになりました。同時に、感謝の気持ちで仕事をされる職員になりました。もっと親切で、もっと分かりやすく説明ができる、そういう職員に、市役所になるよう、市民目線の市政改革をさらに進めていきます。



無所属
石阪丈一
いしざか じょういち

市長5期20年ストップ多選！働く市長が「よしわら修」!!

- 鍛え抜いた都議会での経験を活かせる私にしか出来ません!!
- ✓ 自ら市長給与50%カット!
 - ✓ 経験を活かし、国や都、民間企業と直接交渉する市長のトップセールス!
 - ✓ ムダな「ハコモノ行政」の徹底見直し!
 - ✓ 妊娠から出産までの費用を全額無償化!
 - ✓ 虐待ゼロへ! 都立児童相談所の設置!
 - ✓ 小中学校統廃合の見直し!
 - ✓ 高齢者・障がい者への手厚い支援!
 - ✓ 市民病院の高度医療機能を強化!
 - ✓ 危機管理部署を新設。あらゆる危機に対応!

- 前例や慣例にとらわれない。さあ、始めよう! 新しい町田へ
- ◆ 誰もがいきいきと働ける、平日でもにぎわいある町田へ!
規制緩和により都市機能を整備し、ビジネス拠点や大企業誘致を進める/中小零細事業者経営支援
 - ◆ 子どもの未来に責任。安心して子育てできる町田へ!
心を育む特色ある教育/通学路の早期安全確保/特色ある学童保育の充実/英語・プログラミング教育の充実/いじめ・不登校ゼロの学校づくり
 - ◆ 公共交通が行き届いた町田へ!
ミニバス増路線で暮らしやすい街へ/MaaS活用の公共交通再編/利用率重視のモノレール早期着工
 - ◆ 命を守り、人に寄り添う町田へ!
医療・福祉の連携拡充/子育て・ひとり親・高齢者・障がい者への手厚い支援/介護・認知症者を支える家族支援/特殊詐欺被害の根絶
 - ◆ 文化芸術にふれられる町田へ!
民間の文化芸術ホール誘致/市街地での文化活動規制緩和/若手クリエイターの創造拠点整備/市民文化スポーツ活動の支援強化/調整池を活用した多目的広場を整備/仮・工芸美術館建設地見直し
 - ◆ 厳しい財政を知恵を出して乗り越える!
規制緩和で、民間による街づくり事業を推進!

「50万人都市」を実現
 買物や食事など休日になれば市外からも大勢の人が訪れ、親しまれてきた町田。しかし、既に人口減少社会が進む中、現在の行政対応では町田は確実に衰退して行きます。常に若い人が集まる環境、そして市外からも勤務地として働きに来られるビジネス拠点や雇用を創出し、エネルギー溢れる、持続可能で発展し続ける町田に私が変えます。



無所属
よしわら修
おさむ よしわら

世代交代でやさしい未来を。43万とおりの幸せがかなう町田へ。

町田を愛する方々との出会いで、町田への誇りと未来への想いを深めてきました。「商都町田」「福祉の町田」「自然と便利さの共存」、親の世代がつむいできた町田の魅力を、私たち30代・40代が磨きあげて、子ども達の世代に引き継いでいきたい。20年先も、私たちの大好きな町田が、希望と誇りであふれるまちであり続けるように。

私が「かけ橋」になって、やさしい町田の未来を描いていきます。 **おくざわ高広**

町田に若いリーダーを!! 私も応援します!!
 日本維新の会 副代表 吉村洋文

プロフィール ■ 栃木県佐野市生まれ、町田市森野在住。奨学金で慶應義塾大学法学部政治学科卒業(体育会野球部)。■ 三菱地所(株)、学習塾運営、衆議院議員(前コロナ担当大臣)西村やすとし公設秘書、小池百合子政経塾「希望の塾」を経て、2017年都議選トップ当選(55,740票)。■ 都議会では「無所属東京みらい」幹事長、都市整備委員会副委員長などを歴任。

実績 ■ 東京都子ども基本条例を共同提案 ■ 日本初のソーシャルファームを推進 ■ コロナ調査員の保健所派遣を推進 など

- 重点政策
- 学校統廃合の見直し! 中学校給食の早期導入!
 - こども中心の教育! 子育て支援!
 - 女性副市長! 民間教育長! 障がい者の積極雇用!
 - 減税と規制改革で 商都町田の復活!
 - テクノロジーを活用し 自然と便利さの融合した暮らし!
 - 市長給与3割カット! 退職金ゼロ!

- 生活者目線の新型コロナ対策! 徹底した情報公開!
- 1 保育施設などの現状に即した支援・入所条件の柔軟な運用
 - 2 学校のオンライン出席を登校扱いに(登校選択制の導入)
 - 3 自宅療養者への生活サポート・見守り強化(保健所の機能強化)
 - 4 市民病院によるオンライン診療の推進と司令塔機能の強化など



日本維新の会公認
おくざわ高広
39歳

推薦 立憲民主党 日本共産党 れいわ新選組 社会民主党 町田・生活者ネットワーク 緑の党

推薦 人 法政大学前総長 田中優子さん 元文部科学事務次官 前川喜平さん 法政大学教授 山口二郎さん 上智大学教授 中野晃一さん

経歴 町田市鶴川地区在住24年!
 武蔵野美術大学建築学科卒業 / 一級建築士 / 双方形主宰 / 合同会社対話のデザイン研究所 / まちだNPO法人連合会会長 / のづた里山の家共同代表 / NPO法人まちだ自然エネルギー協議会共同代表理事 / 町田市民電力(株)代表取締役社長(太陽光発電所経営) / 鶴川ショートムービーコンテスト実行委員長 / ちほんで元気! プロジェクト代表(生活困窮者緊急支援お弁当配布) / 鶴川地区社会福祉協議会理事

ここから町田が変わる!



プロだから変えられるまちづくりのエキスパート

一級建築士がプロデュースする未来あるまちへ



きよはら 63歳
清原おさむ

移民反対 反グローバリズム・保守の町田に!



つばさの党 黒川 あつひこ

「保守」を名乗りながら移民を推進する
ビジネス保守政党(自民・公明・維新)に
町田市を任せたままでいいですか?

反グローバリズム・保守の町田に

- 日本人雇用率の低い事業者が公共事業を受注させない
- 外国人生活保護の認定基準の見直しを図る
- 警察と連携し、グローバルな犯罪組織と連動する外国人犯罪の減少に努める

行き過ぎたグローバリズムを止めないと、町田市はおろか、国が滅んでしまいます。例えば、コンビニエンスストアや飲食店で働く人々は今や外国人が多くなっています。それは建築現場や工場なども同じです。安い労働力を海外から入れてくると日本人の賃金が上がらないのは当たり前です。

日本は世界第四位の移民大国になっています。イギリスは移民を受け入れ過ぎて、特に若者の失業率は20%を超えたことでもあります。国民の所得が上がらず、不満が爆発してEUを離脱するまでに至りました。米国やフランスやドイツでも移民の増加で国民の不満は爆発寸前です。世界中で大失敗した移民推進を今更ながら日本が行うことは完全に間違っています。

強引に推し進める箱物行政にはNO

- 多摩都市モノレール延伸見直し
- 市で導入実績のあるBRT(バス高速輸送システム)導入

多摩都市モノレール延伸の現状

- 事業費 約2,300億円以上
内訳 総工費 1,700億円(用地買収別)
駅前大型再開発費 600億円
- 44年前から計画されるも、都からの認可が下りていない
- 市の充分な検討や説明がなく、強引に建設を推進(開業目標は2032年)
- 実行の場合、居住環境や自然の破壊につながる(立ち退き戸数は約200戸以上、騒音・日照権の問題も発生)

BRTの特徴と実績

- 特徴 低予算・短期導入・社会環境に合わせた柔軟な運行が可能
- 実績
 - ・町田駅～山崎団地間で導入(2012年)
 - ・同路線/バス本数23%削減による渋滞緩和
 - ・CO2(二酸化炭素)排出量 年間32トン削減

若者世代が豊かになるよう予算を増額

- 起業支援や産業創出のための補助事業を実施
- 子育て支援策の充実や子ども手当の拡充

これまで政治・経済界のリーダー達が若者世代に投資をしてこなかったため、日本経済は衰退の一途を辿っています。高齢者も安心できる社会の維持には、市や国の稼ぐ力、経済力を上げる必要があります。

新しい産業やビジネスを作るのはどちらかというと若者世代です。この世代を育て、若者が着実に税金や年金を支払える環境を作ることが高齢者も安心できる社会を作ります。

黒川あつひこ プロフィール

1978年生まれ(43歳)、愛媛県今治市出身。愛媛県立今治西高等学校卒業、大阪大学工学部卒業後、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の研究員として大阪大学の大学発ベンチャーの設立支援業務に従事。大阪大学歯学部発ベンチャー企業、株式会社アイキャットを設立、代表取締役CEOとして製品化・マーケティング体制構築の実務に従事(のち退社)。技術系ベンチャー十数社を設立、ベンチャー企業への投資、経営支援業務に従事する。リーマン・ショックを機に金融業界を離れ、2011年春、今治に帰郷し農業と政治活動を始める。地元今治で加計学園問題を追及する社会運動を起こし、2017年、安倍晋三総理のおひざ元山口4区から衆院選出馬。つばさの党の前身である政治団体「オリーブの木」を設立、現「つばさの党」代表、2022年1月より、NHK党の幹事を兼任。

YouTube つばさの党 検索



宮井ひろなお 49歳

監視犯罪 捜査と防止

去年6月に土地規制法が成立しました。自衛隊基地などの「重要施設」が「監視区域」に指定されれば、その1キロ圏内に住む住民は誰もが調査対象になりうる危険極まりないものです。ひとたび調査対象となれば、名前や住所、国籍のみならず、交友関係から思想や信条にまで丸裸にされ、市民が日常的に監視されます。私の家は監視区域に指定されているでしょう。また私が移動や行動する町田市全体も監視区域に指定されるでしょう。

つまり、町田市民全員が日常的に監視される可能性があります。岸田政権公約で国の防衛費がこれまでの6兆円から12兆円へ倍額されることから、防衛省、自衛隊は監視対象を広げることが懸念されることが多いでしょう。しかし、私が市長として当選すれば、それを防げます。町田市長として監視を禁止する条例を出せるからです。私の監視事件を市長として捜査もできるからです。さらに私は土地規制法を廃止するよう国に求めます。ぜひ私に投票して下さい。

宮井ひろなお プロフィール

- 1997年 青山学院大学文学部英米文学科卒業
 - 瀧野川信用金庫に入庫も同年退職
 - 1999年 防衛庁共済組合で働くも監視される
 - 2000年 監視が妄想とされ自衛隊中央病院に入院以降2005年までに精神病院に入院6回
 - 2004年 防衛庁共済組合を退職 以降無職に
 - 2007年 国を相手に本人訴訟を開始 以降現在まで25件裁判する
 - 2009年 世間一般でも私の監視事件が認知される
 - 2018年 町田市議会議員選挙に出馬も落選
- 引越…中学3年生から大学2年生まで4回の引越
趣味…スポーツ観戦 音楽鑑賞 マンガ アニメ ゲーム 読書
信条…どんな逆境でも絶対あきらめない
家族…母 愛犬と同居 兄2人 甥2人 姪1人
日課…体操 ツイッターで政治や経済の情報収集 ツイート数は合計10万件ほど

政策 すべての人に安全・安心・快適を

- ① 監視事件を徹底的に捜査
 - ・私の事件だけでなく1985年共産党盗聴事件まで遡って追及
 - ・町田市の市長として警察と検察を監査します
- ② 監視犯罪を防止
 - ・土地規制法で起きうる監視に罰則付きの条例を制定
 - ・私の監視事件を説明し、国に責任追及して土地規制法廃止へ
- ③ リモート授業・働き方改革
 - ・寝屋川市では小1から中3でリモート授業&タブレット配布
 - ・町田も感染次第では導入し、更に大人のリモートワークを促進
- ④ 現金5万円支給 国の臨時交付金を活用
 - ・寝屋川市では2年前の所得がその前の年よりも30%以上減少した人を対象に現金5万円支給します。町田もそうです。
- ⑤ 8050問題 引きこもりの老々介護
 - ・80才の親、50才の引きこもりの子が増えています
 - ・引きこもりの方々の専門性を生かし、公の仕事を振り分けます
- ⑥ 孤独な方々への支援
 - ・孤独死、自殺の削減を目指して定期的に職員を市民に派遣
 - ・電気ポット、スマートフォン活用で安否確認を促進
- ⑦ 国に意見を提示し解決へ
 - ・国民の自由と権利を抑制する自民党改正草案の憲法改正を防ぐ
 - ・中小企業と個人事業主のためにインボイス制度導入を防ぐ

投票日 2月20日(日)

投票時間 午前7時から 午後8時まで

投票日に仕事や用事がある方は期日前投票をご利用ください

あなたの一票 それが未来の町田の希望

(町田市議会議員選挙・町田市長選挙キャッチコピー)